

執筆者紹介 (掲載順)

瀧澤 秀樹	本学経済学部教授・当研究所所長	曹 国 琪	上海財政経済大学アジア経済研究所教授
菊池 光造	大阪商業大学名誉教授	上田 正昭	京都大学名誉教授・西北大学名誉教授
程 霖	上海財経大学教授	白石 善章	熊本学園大学商学部教授・ 流通科学大学名誉教授
李 悠	江原大学校経営観光会計学部教授	内田 勝敏	同志社大学名誉教授
馬場 芳	鳥取大学地域学部講師	棚池 康信	近畿大学経済学部教授
金 道根	東明大学校教授	嶋田 巧	同志社大学商学部准教授
宋 在晟	東明大学校教授	前田 啓一	本大学経済学部教授
李 宗旻	江原大学校経済貿易学部教授	小田 忠	本学学術研究事務室参与
金正 元	江原大学校教授		
胡 永剛	上海財経大学経済学院教授		

編集委員 (50音順)

(○は論文審査委員)

○飯田耕二郎	本学総合経営学部教授	○塩田真典	本学経済学部教授・経済学部長
○岩井紀子	本学総合経営学部教授	瀧澤秀樹	本学経済学部教授・当研究所所長
○上原一慶	本学経済学部教授	○谷岡一郎	総合経営学部教授・本学学長
○片山隆男	本学経済学部教授・副学長 ・大学院地域政策学研究科長	○中野 安	本学総合経営学部教授・商業史博物館長
坂本雄司	本学事務局長	○前田啓一	本学経済学部教授

◇◇編集後記◇◇

七月七日、比較地域研究所主催で、講師に東京大学大学院情報学環教授姜尚中先生をお招きし、講演会「東北アジアの多国間枠組みと冷戦終結後の秩序形成」を開催した。その中で姜先生は、北朝鮮との冷静な国交回復と、アメリカに向きがちな日本外交を6カ国間の安全保障体制に移行させることを説いておられた。

今号掲載の「欧州統合の現状と共同体アプローチの有効性をめぐって」を読むと、国家共同体を実現・維持することがいかに困難かを思い知らされる。しかし、ユーロはこの5年間対ドルでも対円でも下がっていない。1952年EEC(欧州経済共同体)発足からそこまで発展したわけだが、EUの発展は経済という車輪だけではもちろん達成できなかった。石炭と鉄鋼の共同管理を目的とした欧州石炭鉄鋼共同体は、EECと同年に発足した欧州原子力共同体へと発展していく。この間平和状態を目指し、膨大なエネルギーが注がれたのだろう。それに比べると冷戦が終わった後にやっと歩みだすことのなんと距離の長いことか。

とはいえ、ウランの管理を冷戦後の東北アジアの秩序形成の発端として、東北アジア共同体構想が今後どう育っていくのか、行く末が期待される。(岡村良子)

2007年9月20日 発行

地域と社会 第10号

編集・発行

大阪商業大学比較地域研究所

〒577-8505

東大阪市御厨栄町四丁目1-10

TEL(06)6785-6139

印刷

株式会社 RPSセンター